



青き楓

島高だより
令和2年11月号
(通巻第176号)
長崎県立島原高等学校
編集: 研修広報部

校長室から

井の中の蛙大海を知らず、されど・・・

校長 渡邊 孝経

74回生の修学旅行が、11月30日(月)から12月3日(木)に実施される。海外修学旅行の予定であったが、コロナ禍の中、感染防止に努めながら、九州内での実施とした。

修学旅行団には、「しおり」の中にも書かれてある目的の3点(①進路実現の糧とする。②視野を広げ、望ましい人生観や勤労意識を身につける。③ルールやモラルを学び、他者に対する思いやりの精神を育てる。)を是非、成し遂げてほしいと思う。

また、行った先々での発見で「本物に触れる。」ということを経験して欲しい。さらに、先生方や級友たちと寝食を共にする中で、日常の学校生活では見えない「良いところ」を見つけること、「自分のことより他人のこと」を考えた行動を実践して欲しいと思う。

さて、旅行団を見送るに当たり、ふと思ったのは、出発や別れの際、多くの者が手を振るしぐさについてである。このことについては、藤野紘著「日本人の美しい和のふるまい」によると、手を振る習慣は神の力を招き寄せるまじないに由来しているそうである。奈良・平安時代、女性たちは神に奉仕する際、「領布」(肩巾とも書く)という薄い布を肩にかけ、左右に長く垂らして、それを振って祈ったそうである。空気を振るわせることで、神霊を奮い立たせようという狙いがあったそうである。旅立つ人を見送るときには、袖や手をふり、神霊を奮い立たせ、加護を仰いでいたのである。長い年月の中で、まじないが忘れられても、この形だけは残り、いまでも広く使われている。「ああ、神様、あの人をお守り下さい」という願いが自然とわいてくるからこそ、目的や理由は抜きにしても受け継がれてきたのかもしれない、と述べてある。そうは言っても諸外国でも知り合いに対して手を振るしぐさはよく見るのだが…。

修学旅行の目的に話を戻すが、この旅行の目的に視野を広げることがある。「井の中の蛙大海を知らず」ということわざは知っているだろう。日本大百科全書によると「見聞の狭いことや、それにとらわれて、さらに広い世界のあることを知らないことのたとえ」であるが、その続きは知っているだろうか。それは「されど空の深さを知る」である。つまり限られた範囲のことしか知らないけれども、深く突き詰めて考え、いうならばプロの領域になるということであろうと思う。またこれも「言い得て妙」だと感じている。何事も感じ方、見方によって人生においては無駄ではなく、前向きにとらえることが大事だと教えてもらっているようである。

12月の主な行事予定

1日(火) 2年修学旅行(11/30~12/3)	25日(金) 冬季補習(~26日)
5日(土) 土曜講座(3年)	27日(日) 3年共通テストプレテスト(~28日)
7日(月) 歳末助け合い募金(~11日 校内)	<1月>
12日(土) 土曜講座(3年)	4日(月) 3年共通テストプレテスト(~5日)
街角オーケストラ(文化会館)	6日(水) 冬季補習(~7日)
19日(土) 県下一斉実力テスト(1・2年)	8日(金) 3学期始業式
3年共通テストプレテスト(~20日)	校内実力テスト(1・2年)
23日(水) 地学発表会(1年)	9日(土) 土曜講座(3年)
24日(木) 2学期終業式・大掃除	

1年生消費者教育



家庭科 松尾 恭子

11月10日(火) 家庭科の授業の一環として、講師に長崎県消費生活センターの青崎孔先生をお招きし、「消費者市民として行動するためにSDGsを学ぶ」と題して授業をしていただきました。環境破壊、温暖化問題の動画や資料を多く取り入れた授業は、生徒たちの印象に残る内容で、SDGsについて理解を深めることができました。高校生も自らの行動が社会や環境に影響を与えていることを自覚する機会になりました。

<生徒感想>

○今回の授業を受けて、自分たちの生活が地球環境と密接に関わり合い、悪影響を及ぼしてしまっていることの危機感を改めて実感した。それが環境だけでなく、人々にも影響を与え、貧しい人々を生み出していると思うと、これから自分の生活を変えていかなければならないと思った。

○今、世界が大変なことになっていることを実感しました。それも、自分の想像をはるかに超えていました。このSDGsは、もはや達成されなくてはならない人類の使命だと思えます。他人事と思わず、常に私たち「消費者」が関わっていることを日頃から意識して、少しでも、将来貢献できるような人材になりたいです。

体育部活動生支援学習会

一学年主任 植松 耕平

11月17日(火)から19日(木)に、体育部活動支援学習会を実施しました。「文武両道」を校是に掲げる本校では、学業と部活動の両立を支援するために、部活動で忙しい生徒を対象とした学習会を毎年実施しています。例年は合宿形式で行っていましたが、今年度は新型コロナウイルスの影響で宿泊なしでの実施となり、剣道部とレスリング部から計28名が参加しました。質問に対応する先生方の協力も得ながら、夜遅くまで学習に励んでいました。日本一を目標に掲げ毎日の練習に取り組んでいる両部の生徒たちですが、今回は部活動で培った集中力を勉強の方へ向け、一心不乱にペンを走らせていました。



地震防災避難訓練

保健指導主事 稲本 康弘

10月28日(水)、地震防災避難訓練が実施されました。島原消防署から来て下さった3名の隊員の方々に、生徒の避難状況や職員の指示が適切に行われているかをみていただきました。訓練後の講評では、隊員の方から「皆さんの避難する時の様子は素晴らしかったです。非常の際には、今日のように冷静かつ迅速な行動を心がけて下さい。」と褒めていただきました。今回の訓練を通して、生徒たちはこれまで以上に安全に対する意識を高めることができました。